

(問題 201)

t を媒介変数とするとき

$x = 3t^2, y = 3t - t^3$ で表される曲線を図示せよ。またこの曲線によって囲まれる部分の面積を求めよ。

(問題 202)

直線 $l: y = -x + k$ と楕円 $C: x^2 + 4y^2 = 1$ を考える。 l と C が異なる 2 点 P, Q で交わるよう

な k の値の範囲は \square である。このとき、 $P(x_1, y_1), Q(x_2, y_2)$ とすると、

$x_1 + x_2 = \text{イ} \square, y_1 + y_2 = \text{ウ} \square$ であり、

線分 PQ の中点 M の座標は $(\text{エ} \square, \text{オ} \square)$ である。

したがって、 M は直線 $y = \text{カ} \square$ 上にある。

(問題 203)

2 点 $(0,1), (0,-1)$ を焦点とする双曲線 C_1 と 2 点 $(1,0), (-1,0)$ を焦点としている

楕円 C_2 は、2 点 $\left(0, \frac{1}{2}\right), \left(0, -\frac{1}{2}\right)$ のみを共有している。

(1) C_1 と C_2 の方程式を、それぞれ求めよ。

(2) C_1 と漸近線を共有し、 C_1 と異なる双曲線を C_3 とする。 C_2 と C_3 が 2 点のみを共有するとき、 C_3 の方程式を求めよ。

(問題 204)

p, q, r を正の実数とする。 x を r 倍し q を加える x の関数を $f(x)$ とする。

$$a_1 = f(p)$$

$$a_n = f(a_{n-1})$$

n は 2 以上の整数

として、以下の問いに答えよ。

(1) a_3 を求めよ。

(2) a_n を求めよ。

任意の n について $\lim_{k \rightarrow \infty} a_k = a_n$ を満たす p を求めよ。

(問題 205)

曲線 $C: y = \sin x \left(0 < x < \frac{\pi}{2} \right)$ を考える。 C 上の点 P における C の法線を l とする。

(1) 法線 l が点 $Q(0,1)$ を通るような点 P がただ 1 つ存在することを示せ。

(2) (1) の条件を満たす点 P に対し、直線 l 、曲線 C 、直線 $y=1$ で囲まれる部分の面積を S_1 とする。直線 l 、曲線 C 、 x 軸で囲まれる部分の面積を S_2 とする。

S_1 と S_2 の大小を比較せよ。

(問題 206)

$x > 0$ で定義された関数 $f(x) = x^2 \sin \frac{\pi}{x^2}$ を考える。 n を自然数とし、点 $\left(\frac{1}{\sqrt{n}}, 0 \right)$ にお

ける曲線 $y = f(x)$ の接線を l_n とする。 2 直線 l_n, l_{n+1} の交点の座標を (a_n, b_n) とおくと、次の問いに答えよ。

(1) a_n を n を用いて表せ。

(2) 数列 $\{n^p | b_n|\}$ が正の値に収束するような定数 p を定め、そのときの極限值を求めよ。

(問題 207)

xy 平面の原点 O を中心とする半径 4 の円 E がある。

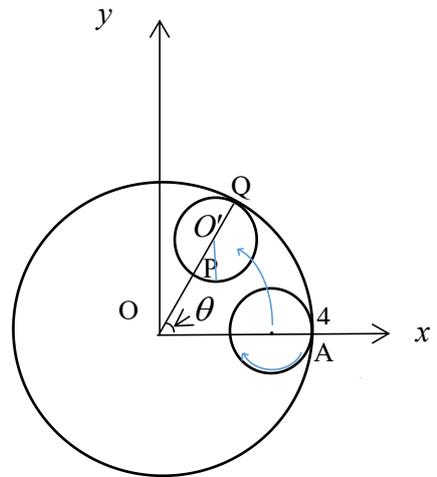
半径 1 の円 C が、内部から円 E に接しながらすべることなく転がって反時計回りに 1 周する。このとき、円 C の周上に固定された点 P の軌跡を考える。ただし、初めに点 P は $(4,0)$ の位置にあるものとする。

(1) 図のように、 x 軸と円 C の中心のなす角度が $\theta (0 \leq \theta \leq 2\pi)$ となったときの点 P の座標

(x, y) を θ を用いて表せ。

(2)

θ 点 P の軌跡の長さを求めよ。



(問題 208)

O を原点とする xyz 空間に点 $P_k \left(\frac{k}{n}, 1 - \frac{k}{n}, 0 \right) (k = 0, 1, 2, \dots, n)$ をとる。また、 z 軸上 $z \geq 0$

の部分に、点 Q_k を線分 $P_k Q_k$ の長さが 1 になるようにとる。三角錐 $OP_k P_{k+1} Q_k$ の体積を V_k

とにおいて、極限 $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=0}^{n-1} V_k$ を求めよ。

(問題 209)

$$f(x) = \int_0^x (\cos t + \cos 2t) dt, 0 \leq x \leq 2\pi$$

の極大値、極小値を求めよ。

(問題 210)

微分方程式 $\left(y + \frac{dy}{dx} \right) \sin x = y \cos x$ について

(1) 微分方程式を解け

(2) この微分方程式の解 $y = f(x)$ で、区間 $0 \leq x \leq \pi$ において曲線 $y = f(x)$

と x 軸とによって囲まれる図形の面積が $e^{-\pi} + 1$ となるものを求めよ。

(問題 2 1 1)

不等式 $x^2 - (a^2 - 2a + 1)x + a^2 - 2a < 0$ を満たす整数 x が存在しないような a の値を求めよ。

(問題 2 1 2)

円 $x^2 + y^2 = 3$ と放物線 $y = x^2 + a$ が 2 点で交わり、それぞれの交点における放物線の接線がともに原点を通るとき、つぎの問いに答えよ。ただし a は正の定数である。

- (1) 定数 a の値および接線の方程式をも読めよ。
- (2) 円と放物線とで囲まれる部分の上側の面積を求めよ。

(問題 2 1 3)

$abcd = a + b + c + d$ を満たす正の整数 a, b, c, d を求めよ。

(問題 2 1 4)

- (1) 曲線 $y = 2^x$ 上の点 (a, b) の接線が点 $(0, 4 - 4\log 4)$ を通るとき、 a, b の値を求めよ。
- (2) y 軸、曲線 $y = 2^x$ 、(1)の接線で囲まれた部分の面積を求めよ。

(問題 2 1 5)

a を実数、 $f(x) = \log_2(x - 2)$ とする。点 (x, y) が曲線 $y = f(x)$ の上を動くとき、

点 $\left(\frac{x}{2} - a - 1, \frac{y}{2}\right)$ が動いてできる曲線の式を $y = g(x)$ とおく。

- (1) $g(x)$ を求めよ。
- (2) $y = g(x)$ のグラフは $y = \log_4 x$ のグラフを平行移動したものであることを示せ。
- (3) $f(x) = g(x)$ を満たす実数値 x がただ 1 つ存在するような a の値の範囲を求めよ。

(問題 2 1 6)

角 α, β, γ が $\alpha + \beta + \gamma = \pi, \alpha \geq 0, \beta \geq 0, \gamma \geq 0$ を満たすとき、

$\cos \alpha + \cos \beta + \cos \gamma \geq 1$ を示せ。

(問題 2 1 7)

- (1) $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ に対し, $\sin 2\theta = \cos 3\theta$ が成立している。このとき, $\sin \theta$ の値を求めよ。
- (2) 有理数 a, b が等式 $\cos \frac{\pi}{12} = \sqrt{a} + \sqrt{b}$ を満たすとき, a, b の値を求めよ。

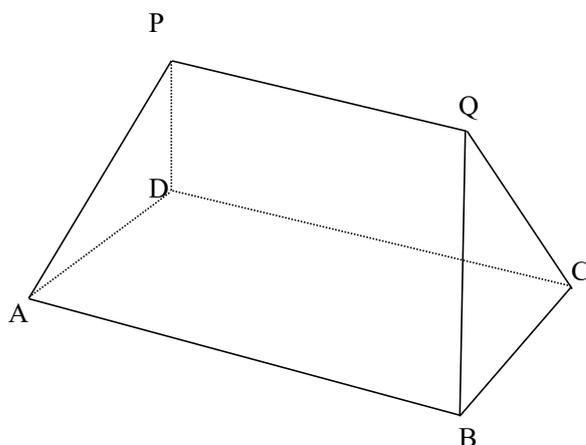
(問題 2 1 8)

a, b が正の実数のとき, $a^b b^a \leq (ab)^{\frac{a+b}{2}}$ を証明せよ。

(問題 2 1 9)

1 辺の長さが l , (ただし, $1 < l < \frac{1+\sqrt{7}}{2}$ とする。) の正方形 $ABCD$ の上に
辺の長さが, $1, 1, 1, l$ の台形 2 つを図のように組み合わせて,
屋根の形をした図形 $ABCD - PQ$ を作る。

- (1) 点 P から面 $ABCD$ に下した垂線の足を H とする。
線分 PH の長さを求めよ。
- (2) 面 $ABCD$ と面 $ABPQ$ がなす角 α とし, 面 $ABCD$ と
面 ADP がなす角を β とする。 $\tan \alpha$ と $\tan \beta$ の積
 $\tan \alpha \tan \beta$ を求めよ。
- (3) $\alpha + \beta = \frac{\pi}{2}$ が成立するような l の値を求めよ。
- (4) l が(3)で求めた値をとるとき, $\angle BQP = \angle BQC$ であることを証明せよ。



(問題 2 2 0)

xyz 空間において条件 $x^2 + y^2 \leq z^2, z^2 \leq x, 0 \leq z \leq 1$ を満たす点 $P(x, y, z)$ の全体からなる立体を考える。この立体の体積を V とし、 $0 \leq k \leq 1$ に対し、 z 軸と直交する平面 $z = k$ による切り口の面積を $S(k)$ とする。

(1) $k = \cos \theta$ とおくととき $S(k)$ を θ で表せ。ただし、 $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ とする。

(2) V の値を求めよ。

(問題 2 2 1)

xy 平面の領域 $D: x > 1, y > 0$ を点 $P(x, y)$ が時刻 t の経過に従って次の微分方程式を満たしながら動いている。

$$\frac{dx}{dt} = y, \frac{dy}{dt} = 2x(x^2 - 1)$$

$t = 0$ のとき、 P は $A(2, 3)$ にあるとする。

(1) x と y が微分方程式 $\frac{dy}{dx} = \frac{2x(x^2 - 1)}{y}$ を満たすことを示し、 y を x で示せ。

(2) x と y を t で表せ。また、 t の範囲を表せ。

(問題 2 2 2)

図のように、半径の等しい n 個の円 C_1, C_2, \dots, C_n が半径 1 の円 C に内接し、 C_1 と C_2 ,

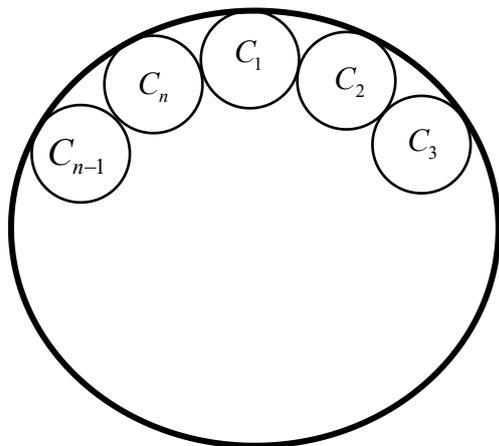
C_2 と C_3 , \dots , C_{n-1} と C_n , C_n と C_1 がそれぞれ外接しているものとする。半径の等しい

n 個の円の半径を r_n とするとき、以下の問いに答えよ。

(1) $\lim_{n \rightarrow \infty} nr_n = \pi$ を示せ。

(2) (ア) $\theta > 0$ のとき $\sin \theta > \theta - \frac{\theta^3}{6}$ が成立することを示せ。

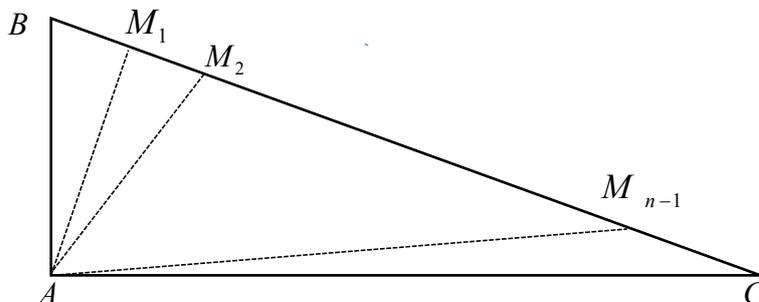
(イ) (ア)を用いて、 $\lim_{n \rightarrow \infty} n(\pi - nr_n)$ を求めよ。



(問題 2 2 3)

斜辺 BC の長さが a の直角三角形 ABC がある。図のように、斜辺 BC n 等分点を

M_1, M_2, \dots, M_{n-1} とし、 $\sum_{k=1}^{n-1} AM_k^2 = S_n$ とするとき、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{S_n}{n-1}$ を求めよ。



(問題 2 2 4)

円 $x^2 + (y-a)^2 = r^2$ ($a > r > 0$) を x 軸の周りに 1 回転してできる立体 (円環体) の体積 V

は、円の面積 (πr^2) と、円中心が 1 回転してできる円周の長さ ($2\pi a$) との積に等しいことを次の手順で示せ。

(1) 置換積分法を用いて、定積分 $\int_0^r \sqrt{r^2 - x^2} dx$ ($r > 0$) の値を求めよ。

(2) 半円 $y = a + \sqrt{r^2 - x^2}$ と直線 $y = a$ とによって囲まれた部分を、 x 軸の周りに 1 回転してできる立体の体積 V_1 を求めよ。

(3) 半円 $y = a - \sqrt{r^2 - x^2}$ と直線 $y = a$ とによって囲まれた部分を、 x 軸の周りに 1 回転してできる立体の体積 V_2 を求めよ。

(4) 体積 V を求め、 $\pi r^2 \times 2\pi a$ に等しいことを示せ。

(問題 2 2 5)

xy 平面上で次の直線 l が C の接線であるとき、次の問いに答えよ。

$$l: y = ax + b$$

$$C: y = b \log x + ab$$

ただし $a > 0, b > 0$ とする。 l が C の接線であるとき、次の問いに答えよ。

- (1) b を a を用いて表せ。
- (2) 直線 l と曲線 C および x 軸とによって囲まれる図形の面積を S を最大にするような a の値を求めよ。
- (3) a を $0 < a \leq 2$ の範囲で変化させるとき、 l と C の接点の軌跡の概形を xy 平面上に図示せよ。

(問題 2 2 6)

2 つの曲線 $C_1: y = ax^2 - 1$ と $C_2: y = \log x$ が 1 点 P を共有し、点 P において共通な接線を持っている。ただし、 a は定数、対数は自然対数である。

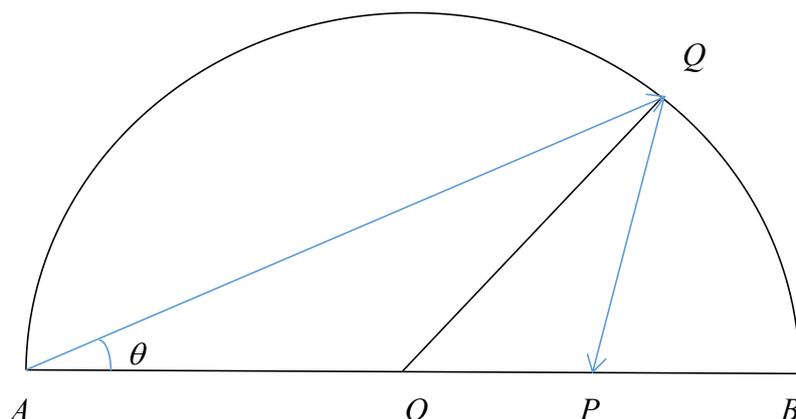
- (1) a の値および共通な接線の方程式を求めよ。
- (2) 曲線 C_2 と x 軸及び直線 $x = 1, x = e$ とで囲まれた部分の面積 S_1 を求めよ。
- (3) 2 曲線 C_1, C_2 と $x = 1, x = e$ とで囲まれた部分の面積 S_2 を求めよ。

(問題 2 2 7)

図のような半球形の凹面鏡がある。直径を AB ，中心を O ，半径を r とする。

AB と θ ($0 < \theta < \frac{\pi}{4}$) の角をなす光線が鏡の点 Q で反射し AB と交わる点を P とする。

$\theta \rightarrow 0$ とすると P はどのような点に近づくか。ただし， Q において $\angle AQQ = \angle OQP$ となるように反射するものとする。



(問題 2 2 8)

(1) 次の不定積分 $\int \frac{ds}{\sqrt{s^2-1}}$ を $s + \sqrt{s^2-1} = t$ とおくことにより求めよ。

(2) xy 平面上の曲線 $y = f(x)$ (ただし， $f(x) \geq 0$) について，任意の正の数 t に対して，

曲線 $y = f(x)$ ($0 \leq x \leq t$) の長さ と，直線 $x = t$ ， x 軸， y 軸 および 曲線 で 囲まれた 図形 の 面積 と の 比 は $1 : 1$ である という。このとき， $x \geq 0$ において， $f(0) = 1$ かつ $x > 0$ のとき

$f(x) > 1$ である 曲線 の 方程式 を 求めよ。

(問題 2 2 9)

(1) $\lim_{x \rightarrow \infty} (3x-1) \sin \{ \log(x-2) - \log x \}$ を求めよ。

(2) $\lim_{x \rightarrow 0} \log \left(\frac{4^x + 9^x}{2} \right)^{\frac{1}{x}}$ を求めよ。

(3) $\lim_{x \rightarrow 0} \left(\frac{4^x + 9^x}{2} \right)^{\frac{1}{x}}$ を求めよ。

(問題 2 3 0)

放物線 $C: y = x^2$ への降下物が曲線 C で跳ねて、焦点 $F\left(0, \frac{1}{4}\right)$ に当たることを示せ。

(問題 2 3 1)

$(\tan x)' = \frac{1}{\cos^2 x}$ を証明せよ。

(問題 2 3 2)

2 個の焦点 F, F' からの距離の和が楕円となることを示せ。

(問題 2 3 3)

2 個の焦点 F, F' からの距離の差が一定である点の集合が双曲線であることを示せ。

双曲線の方程式を $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1 (a > b > 0)$ とする。

(問題 2 3 4)

$A = \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 2 & 3 \end{pmatrix}$ とする。 A^n を求めよ。

(問題 2 3 5)

$A = \begin{pmatrix} -3 & 1 \\ -1 & -5 \end{pmatrix}$, A^n を求めよ。

(問題 2 3 6)

$f(x) = \frac{1 - \cos^k x}{1 - \cos x}$, $\lim_{x \rightarrow 0} f(x)$ を求めよ。

(問題 2 3 7)

$0 < a < 1, a_1 = a, a_n = 1 - \sqrt[3]{1 - a_{n-1}}$

(1) $\sum_{n=1}^{\infty} \log(1 - a_n)$ を求めよ。

(2) $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ を求めよ。

(問題 2 3 8)

$(\sin x)' = \cos x$ を証明せよ。

(問題 2 3 9)

n を 1 以上の整数とする。区間 $0 \leq x \leq 1$ で連続な関数 $f(x)$ が、整数 $k = 0, 1, \dots, n-1$ に対

して、次を満たしているものとする。
$$\int_0^1 x^k f(x) dx = 0$$

(1) t が実数全体を動くときの $g(t) = \int_0^1 |x-t|^n dx$ の最小値と、それを与える t の値を求めよ。

(2) 全ての实数 t に対して、次の等式が成り立つことを示せ。

$$\int_0^1 (x-t)^n f(x) dx = \int_0^1 x^n f(x) dx$$

(3) 関数 $|f(x)|$ の $0 \leq x \leq 1$ における最大値を M とするとき、

$$\left| \int_0^1 x^n f(x) dx \right| \leq \frac{M}{2^n(n+1)}$$
 を示せ。

(問題 2 4 0)

次の不定積分を求めよ。

(1)
$$\int \frac{2x^3 + 4x^2 + 2x + 4}{x^4 - 1} dx$$

(2)
$$\int \frac{2x^3 + 4x^2 - 4x + 4}{x^4 - 1} dx$$

(問題 2 4 1)

次の不定積分を求めよ。

$$(1) \int \frac{3x^2 - 4x + 4}{x^3 + 1} dx$$

$$(2) \int \frac{2x^2 + 5x + 5}{x^3 - 1} dx$$

(問題 2 4 2)

2 点 $F(0, \sqrt{a^2 + b^2})$, $F'(0, -\sqrt{a^2 + b^2})$ からの距離の差が一定である点の集合が双曲線である

ことを示せ。双曲線の方程式を $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = -1$

(問題 2 4 3)

$\lim_{x \rightarrow 0} \frac{\sin x}{x} = 1$ を証明せよ。

(問題 2 4 4)

k を正の定数とする。直線 $y = kx$ を l とし、原点 O を通り l に垂直な直線を m とする。

2 次正方行列 A で表される 1 次変換を f とする。 f により、直線 l 上の点は自分自身に移り、直線 m の点は原点に移る。

(1) 行列 A を求めよ。

(2) P を座標平面上の点とする。点 P の f による像を Q とする。

(i) 点 Q は l 上の点であることを示せ。

(ii) 点 P が l 上の点でないとき、直線 PQ と直線 l は垂直であることを示せ。

(iii) 3 点 $(0,0)$, $(1,0)$, $(0,2)$ を頂点とする三角形の辺上を点 P が動くとき、点 Q の動く範囲を求めよ。

(問題 2 4 5)

楕円 $C: \frac{x^2}{9} + \frac{y^2}{4} = 1$, 直線 $y = \frac{2}{\sqrt{3}}x$, $y = \frac{2}{3\sqrt{3}}x$, $y > 0$ で囲まれた部分の面積を求めよ。

(問題 2 4 6)

(1) $\sin^2 x \geq \sin^3 x \geq \sin^4 x$ $\left(0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}\right)$ を証明せよ。

(2) $1 \leq \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sqrt{1 - \sin^3 x} dx \leq \frac{\sqrt{2}}{2} + \frac{1}{2} \log(1 + \sqrt{2})$ を証明せよ。

(問題 2 4 7)

a, b を正の数。平面上 2 点 $A(-a, 0), B(0, -b)$ を通る楕円

$\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ を E とする。 E 上にある第 1 象限の点を C とし、その点における

E の接線を L とする。次の問いに答えよ。

(1) L と直線 AB が平行となるような点 C を求めよ。

(2) (1) で求めた C と A を通る直線と E との囲まれる、原点を含まない部分の面積を求めよ。

(問題 2 4 8)

不等式 $ax^2 + y^2 + az^2 - xy - yz - zx \geq 0$ が任意の実数 x, y, z について成り立つような定数 a の値の範囲を求めよ。

(問題 2 4 9)

$a + b + c \neq 0, abc \neq 0$ を満たす実数 a, b, c が等式

$\frac{1}{a} + \frac{1}{b} + \frac{1}{c} = \frac{1}{abc}$ を満たしている。このとき、任意の奇数 n に対して、

等式 $\frac{1}{a^n} + \frac{1}{b^n} + \frac{1}{c^n} = \frac{1}{(a+b+c)^n}$ が成り立つことを示せ。

(問題 2 5 0)

$\cos x$ を微分すると $-\sin x$ となることを証明せよ。

(問題 2 5 1)

(1) $\int_n^{n+1} \frac{1}{x} dx < \frac{1}{2} \left(\frac{1}{n} + \frac{1}{n+1} \right)$ を示せ。

(2) $\frac{1}{2} < 1 + \frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{n} - \log n$ を示せ。

(問題 2 5 2)

2つの楕円 $\frac{x^2}{3} + y^2 = 1, x^2 + \frac{y^2}{3} = 1$ で囲まれる共通部分の面積を求めよ。

(問題 2 5 3)

(1) $F(x) = \frac{1}{2} \left\{ x\sqrt{x^2+1} + \log(x + \sqrt{x^2+1}) \right\}, x > 0$ の導関数を求めよ。

(2) xy 平面上の点 P は、方程式 $x^2 - y^2 = 1$ で表される曲線 C 上にあり、第 1 象限の点である。原点 O と点 P を結ぶ線分 OP, x 軸、および曲線 C で囲まれた図形の面積が $\frac{s}{2}$ であるとき、点 OP の座標を s を用いて表せ。

(問題 2 5 4)

行列 $A = \begin{pmatrix} -1 & -4 \\ 6 & 9 \end{pmatrix}$ のとき

(1) $P^{-1}AP = \begin{pmatrix} \alpha & 0 \\ 0 & \beta \end{pmatrix}$ となるような α, β および $P = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ を求めよ。

ただし、 $\alpha > 4, a = 2, ad - bc = 2$ とする。

(2) A^n を求めよ。

(問題 2 5 5)

$$a^2 + b^2 = 1, A = \begin{pmatrix} 3a-2 & -b+7 \\ 3b+7 & a \end{pmatrix}, A \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -2x+8y \\ 7x-3y \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix} \neq \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \end{pmatrix}$$

A を求めよ。

(問題 2 5 6)

単位行列 E の実数倍でない行列 $A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ を考える。 A で表される xy 平面上の移動を

f とする。

(1) $A^2 = kE$ を満たす実数 k が存在するための必要十分条件は、 $a + d = 0$ であることを示せ。

(2) $a + d = 0$ のとき、原点 O とは異なる点 P で $f(P)$ が直線 OP 上にある物が存在すれば、 $a^2 + bc \geq 0$ であることを示せ。

(3) $a + d = 0$ かつ $a^2 + bc \geq 0$ であるとする。このとき、 $\lambda = \sqrt{a^2 + bc}$ とおけば、

$(A - \lambda E)(A + \lambda E) = O$ が成り立つことを示せ。ただし、 O は零行列とする。

(4) (3)の仮定のもとで、 $\lambda = \sqrt{a^2 + bc}$ とおく。原点 O とは異なる点 P で、 $Q = f(P)$ とすれば、 $\overrightarrow{OQ} = \lambda \overrightarrow{OP}$ となるものが存在することを示せ。

(問題 2 5 7)

底面が長さ a の正四角形、4 個の側面が長さ a の正三角形の立体に内接する球の半径を求めよ。

(問題 2 5 8)

(1) $\int \frac{1}{\sin^2 x} dx$ を求めよ。

(2) $\int \tan x dx$ を求めよ。

(3) $\int \cos^4 x dx$ を求めよ。

(問題 2 5 9)

(1)

$\int_0^{\sqrt{3}-1} \frac{1}{x^2 + 2x + 4} dx$ を求めよ。

(2) $\int \frac{1}{x\sqrt{\log x}} dx$ を求めよ。

(問題 2 6 0)

$y = \tan x = f(x)$ の逆関数を $g(x)$ とする。 $g'(x) = \frac{1}{x^2 + 1}$ を示せ。

$\frac{dy}{dx} = \frac{1}{\frac{dx}{dy}}$ を用いてよい。

(問題 2 6 1)

曲面 $x^2 + \frac{y^2}{4} + \frac{z^2}{9} = 1$ で囲まれた部分の体積を求めよ。

(問題 2 6 2)

(1) 点 $(1, -1)$ を通り傾き m の直線の方程式を求めよ。

(2) (1) で求めた直線と曲線 $x = \sqrt{y}$ との接点の座標を求めよ。

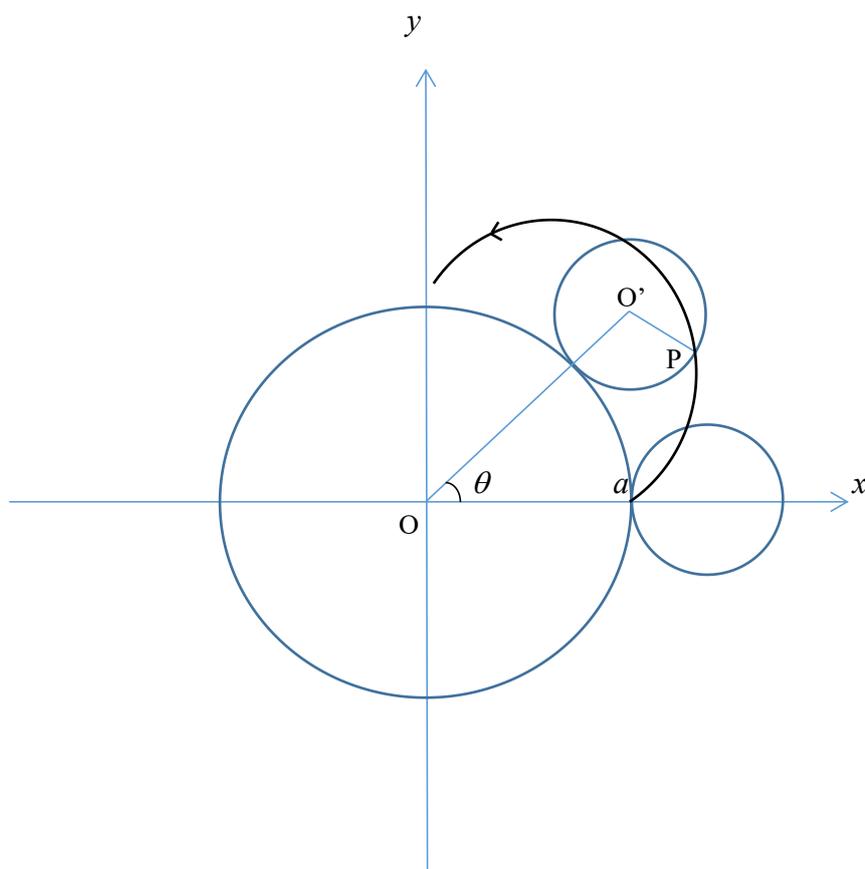
(問題 2 6 3)

(1) $A = \begin{pmatrix} -1 & -9 \\ 1 & -7 \end{pmatrix}$ とする。 A^n を求めよ。

(2) $B = \begin{pmatrix} -1 & -9 \\ 2 & -7 \end{pmatrix}$ とする。 B^n を求めよ。

(問題 2 6 4)

原点 O 中心、半径 a の円 C に半径 b ($b < a$) の円 C' が外接している。初め円 C' の中心 O' は $(a+b, 0)$ にあり、 C' は C に外接しながら反時計回りに回転していく。円 C' 上の点 P の軌跡の座標を x 軸と OO' のなす角 θ で表せ。ただし、点 P の初めの座標は $(a, 0)$ とする。



(問題 2 6 5)

自然数 n に対して $\begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 2 & 1 \end{pmatrix}^n = \begin{pmatrix} a_n & c_n \\ b_n & d_n \end{pmatrix}$ とおくとき

(1) $a_n = d_n, b_n = c_n$ を示せ。

(2) a_n, b_n を求めよ。

(問題 2 6 6)

極形式 $r = \theta$ で表される曲線の $(0 \leq \theta \leq \pi)$ での区間の長さを求めよ。

(問題 2 6 7)

(1) 点 $\left(2, \frac{4}{3}\right)$ を通り、傾き a の直線の方程式を求めよ。

(2)(1)で求めた直線と曲線 $y = -\sqrt{\frac{4}{9}x^2 - 4} (x > 3)$ が異なる 2 つの交点をもつための a の範囲

を求めよ。

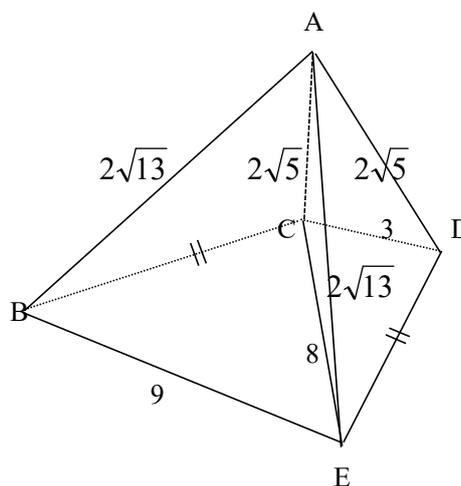
(3)(1)で求めた直線と曲線 $y = -\sqrt{\frac{4}{9}x^2 - 4} (x > 3)$ のが接するとき, その接点の座標を求めよ。

(問題 268)

図の四角錐の外接球の半径を求めよ。

$$AC = AD = 2\sqrt{5}, AB = AE = 2\sqrt{13}$$

$$CD = 3, BE = 9, CB = DE, CE = 8$$



(問題 269)

(1) $a^x (a > 0)$ を微分せよ。

(2) $\int a^x dx$ を求めよ。

(問題 270)

曲面 $y = 2x^2$ と 3 平面 $x + y + z = 1, y = 0, z = 0$ で囲まれた立体の体積を求めよ。

(問題 271)

xyz 直交座標上の点 A (2, 2, 0)、B (2, 0, 2) C (0, 2, 2), 三角形 ABC へ原点 O から下ろした垂線の点の座標を求めよ。

(問題 272)

曲線 $(x^2 + y^2)^2 = x^2 - y^2$ の増減を調べ, グラフを書け。

(問題 273)

曲線 $y = \sqrt{\frac{x^2}{4} - 1}$ ($x > 2$) と直線 $y = x - 2$ で囲まれる部分の面積を求めよ。

(問題 274)

直線: $y = x$ と曲線 $y = -\frac{1}{2}x^2 + 7x - 4$ で囲まれる部分 ($x > 0$) を直線: $y = x$ の周りに 1 回転して得られる回転体の体積を求めよ。

(問題 275)

$y = e^x - 1$, 直線: $y = x$, 直線: $y = -(x-1) + e - 1$ で囲まれた部分を直線: $y = x$ の周りに回転してできる立体の体積を求めよ。

(問題 276)

$y = \sin x$ と直線: $y = x$, 直線: $y = -(x - \pi)$ で囲まれた部分を, 直線: $y = x$ の周りに回転してできる立体の体積を求めよ。

(問題 277)

(1) 不等式 $\frac{1}{\sqrt{n+1}} < \int_n^{n+1} \frac{1}{\sqrt{x}} dx < \frac{1}{\sqrt{n}}$ (n は自然数) を証明せよ。

(2) $1 + \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{\sqrt{3}} + \dots + \frac{1}{\sqrt{100}}$ の整数部分を求めよ。

(問題 278)

(1) $a^3 + b^3 + c^3 \geq 3abc$, ($a > 0, b > 0, c > 0$) を証明せよ。

(2) $a^4 + b^4 + c^4 + d^4 \geq 4abcd$, ($a > 0, b > 0, c > 0, d > 0$) を証明せよ。

(問題 279)

正の数 a, b が $a^3 + b^3 = 2$ を満たすとき,

(1) $a + b$ の範囲を求めよ。

(2) $a^2 + b^2$ の最大値を求めよ。

(問題 280)

(1) 1 次変換 $f: \frac{1}{4} \begin{pmatrix} 1 & 12 \\ 0 & 4 \end{pmatrix}$ によって動かない点の集合を求めよ。

(2) $P_1(a, b)$, $P_{n+1} = f(P_n)$ とする。 $n \rightarrow +\infty$ とするとき, P_n はどのような点に近づくか。

(問題 281)

a がどのような値をとっても, 直線: $(a^2 - 1)x - 2a(y + a) = 0$ が通らない部分を図示せよ。

(問題 282)

任意の x, y に対し, $f(x + y) = f(x) + f(y) + 2xy, f'(0) = 1$ を満たすような関数 $f(x)$ を求めよ。

(問題 283)

$x^2 + y^2 + z^2 = 8$ のとき, $3x + 4y + 5z$ の最大値, 最小値を求めよ。

(問題 284)

$(x - 1)(x - y - 1) \leq 0$ のとき, $(x + y)^2 + (2x - y)^2$ の最小値を求めよ。

(問題 285)

$\lim_{x \rightarrow 0} \frac{1}{x} \int_0^x \frac{\cos t}{1 + \cos t} dt$ を求めよ。

(問題 286)

曲線: $y = \log(x + 1)$, 直線: $y = x$, 直線: $y = -(x - 2) + \log 3$ で囲まれる部分を直線: $y = x$ の周りに回転してできる回転体の体積を求めよ。

(問題 287)

楕円: $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1 (a > b > 0)$ で囲まれる部分の面積を求めよ。

(問題 288)

a, b を $a < b$ を満たす正の定数とし, C を双曲線 $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2 - a^2} = 1$ とする。

C 上の点 $P(\alpha, \beta)$ ただし $\beta \neq 0$ における C の接線, 法線をそれぞれ l_1, l_2 とする。

また, Q を l_1 と y 軸との交点, R を l_2 と y 軸との交点とする。

(1) l_1 および l_2 の方程式を求めよ。また Q, R の座標を求めよ。

(2) 4 点 $P, Q, R, S(b, 0)$ は同一円周上にあることを示せ。

(問題 289)

$\int_{\frac{1}{2}}^2 \frac{6x}{x^3 - 1} dx$ を求めよ。

(問題 290)

$A = \begin{pmatrix} 2 & 1 \\ 4 & 2 \end{pmatrix}$ とする。 A^n を求めよ。

(問題 291)

カタナリー曲線: $y = \frac{a}{2} \left(e^{\frac{x}{a}} + e^{-\frac{x}{a}} \right)$, ($a > 0$) と, x 軸に垂直な任意の 2 直線および x 軸とで

囲まれた部分の面積を S , これに対する曲線のこの長さを l とするとき, $S = al$ であることを示せ。

(問題 292)

曲線: $y = \frac{1}{\sqrt{2}} x^2 - x (x \geq 0)$ と直線: $y = x$ で囲まれた部分を直線: $y = x$ の周りに回転さ

せてできる立体の体積を求めよ。

(問題 293)

$\int \left(2x + \sqrt{x^2 + A} + \frac{x^2}{\sqrt{x^2 + A}} \right) dx$ を求めよ。

(問題 294)

r を正の整数とすし、 n を 3 以上の自然数とする。円 C を半径が r の円とする。円 C に内接する正 n 角形の 1 辺の長さを s_n 、円 C に外接する正 n 角形の 1 辺の長さを t_n とする。ただし正 n 角形が円 C に外接するとは、円 C が正 n 角形の全ての辺に接することである。

(1) s_n を r と n を用いて表せ。

(2) $\frac{s_n}{t_n}$ を n を用いて表せ。

(3) $s_5 = 2$ であるとき、円 C に内接する正 5 角形の面積を小数第 3 位を四捨五入して小数第 2 位まで求めよ。ただし、 $\tan 36^\circ = 0.727$ としてよい。

(問題 295)

行列 A, B が $AB = A + B$ を満たす。

(1) $A - E$ は逆行列を持つことを示せ。

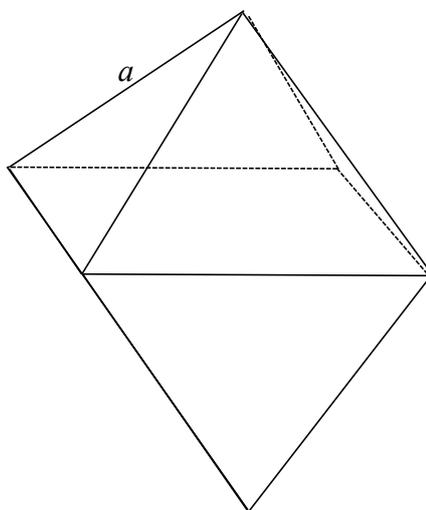
(2) 適当な実数を用いて $B = \alpha A + \beta E$ と表せれることを示せ。

(問題 296)

$x^2 + (2m + 5)x + (m + 3) = 0$ が整数の解をもつための整数 m の値を全て求めよ。

(問題 297)

1 辺 a の正 8 面体が半径 r の球に内接している。球の半径 r を a を用いて表せ。



(問題 298)

2 平面 $2x+3y-4=0, x+y-z=3$ の交線 l と球面 $x^2+y^2+z^2=9$ の交点の座標を求めよ。

(問題 299)

p, q を正の実数, $p+1 \geq q$ とする。数列 $\left\{ \frac{n^q}{1^p+2^p+\dots+n^p} \right\}$ の極限值を求めよ。

(問題 300)

三角形 ABC の 2 つの頂点 B, C から対辺へ下ろした垂線の足をそれぞれ P, Q とする。
点 B, C, P, Q は 1 つの円周上にあることを示せ。